備前市事務事業評価シート

（平成24年度事業）

事業の概要

事業開始年度	昭和57年	根拠法令・例規等	備前市日生市民会館設置条例
総合計画 大項目	03 地域文化と人が輝くまちづくり	問合先 担当課（室）	日生地域公民館・日生市民会館
総合計画 中項目 基本施策	02 生きがいのあるまちづくり	職・氏名	館長代理　山本香代子
総合計画 小項目 施策	04 公民館	電話	0869-72-1006
事務事業名	02 市民会館運営事業	このシート作成に要した時間	3.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	文化活動やグループ活動団体・講座の参加者・貸館で利用する企業、個人、各種団体等
目的（何のために）	文化や教養を高めるための機会や、各種会議、集会等で利用したい人々に場所を提供することを目的とする。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	多種多様の目的で利用しやすい施設となるよう管理運営を行う。具体的には、市民の文化活動の拠点となったり、老若男女とわず気軽に出入りできる雰囲気づくりをし、青少年健全育成や高齢者の生きがいを見いだせる施設となるよう努める。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
市民会館運営事業	日生地域公民館・図書館・ホールの複合施設を一括管理	◎

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費	直接事業費	千円	19,353	14,720	49,639
	必要人員		1.01人	0.93人	1.12人
	人件費		9,988	9,295	11,035
	事業費計		29,341	24,015	60,674
決算額 財源	国県支出金	千円			
	受益者負担		623	455	1,017
	繰入金				
	市債				
	その他（　）		83	33	1,042
	一般財源		28,635	23,527	58,615
受益者負担比率		%	2.1%	1.9%	1.7%

結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	説明			
結果指標量	人	17,232	15,563	18,025
対前年比	%	－	90.3%	115.8%
活動コスト	円	29,341,000	24,015,000	60,682,000
単位当たりコスト		1,703	1,543	3,367

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

事業の成果

成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
年間施設利用者数	目標値（A）	20,000	20,000	17,000	18,000
	実績値（B）	17,232	15,563	18,025	到達目標値
	達成率（B/A）	86.16%	77.82%	106.03%	90

成果指標設定の考え方・式や説明

利用人数が増えることは、文化活動やグループ活動を積極的に行い市民間の交流が図られていると考え、市民会館の利用状況を表す年度ごとの利用者数が最適であるため成果指標とした。

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ■ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**B**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

有効性の評価

目的達成度・市民参画度

- ■ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ■ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

進行年度（H25年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：市民会館としてのみの施設でなく、日生地域公民館・図書館日生分館と複合施設であり、特に日生地域の住民にとっては必要な施設であるため、引き続き維持管理をしながら運営していく必要があるが、老朽化に伴う修繕は年度毎に計画的に実施していく必要がある。

総合評価

建築後31年が経過しており、施設の老朽化により破損箇所や電気関係の故障が目立ってきているのが現状であり、利用者の安全を確保するために、細やかな保守点検を行っていく必要がある。

総合評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

Action

平成26年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：当面は現状維持とするが、将来的に類似施設の統廃合が実行されれば廃止となる事が予想されるので、危険箇所の修理をしながら効率よく少しでも長く施設を維持できるよう努める。